

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	佐久地域着地型観光推進支援事業 『着地で得た情報で「来訪者が動く」仕組みづくり事業』
事業主体 (連絡先)	佐久地域観光連携協議会 (事務局：佐久広域連合 0267-62-7721)
事業区分	(6) 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,256,468円 (うち支援金：3,000,000円)

事業内容

- ①軽井沢への滞在促進と着地型観光による佐久地域への周遊促進を図るため、人を動かす仕組みづくりのツールとして、旅行者目線に立った情報誌を作成した。
- 秋号 平成27年9月発行
12ページ 3万部
- 春号 平成28年2月発行
12ページ 3万部
- ②秋号は「自然の恵みが繋ぐ愛情のリレー～佐久の大地からキッチン、そして食卓へ～」、春号は「鉄道で行こう！～旅を紡ぎ、人を結ぶ。レールが繋ぐストーリー～」をテーマに佐久地域へ初めて訪れる旅行者に地域の魅力を紹介する内容となるように配慮した。



平成27年9月秋号



平成28年2月春号

事業効果

- ・秋号、春号をそれぞれ3万部作成し、佐久広域連合の協力のもと、佐久広域連合組織市町村や公共施設、道の駅、宿泊施設、別荘管理事務所などのほか、国内旅行者の移動手段の多くが車であることに対応するため、ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、レンタカー営業所へ配布した。
- ・配布先には、掲載内容の主旨説明を行い、情報誌を一層効果的に活用してもらえるよう努めた。

【目標・ねらい】

- 観光意向調査や観光動向調査などの結果を基に、顧客の視点から編集する。
- 顧客が求める情報を最適なタイミングで提供することで、人を動かすことができる仕組みをつくる。

※自己評価【A】

【理由】

- ・事業目標を達成し、情報誌の配布が一層効果的に実施されるよう取り組んだ。

今後の取り組み

観光意向調査や観光動向調査などの結果を基に、「旅行者が着地で得た情報で動く仕組みづくり」として作成してきた情報誌は、アンケートの結果からも情報誌の配布が効果的に実施され佐久地域の周遊に繋がっていることが証明されました。こうした実績を踏まえて、佐久地域の魅力を人に焦点を当てて紹介することで関心を高めながら、特徴や違いを旅行者へ効果的に受け取ってもらえるよう、今後の事業展開に活かしたい。